

わく楽通信

わく楽通信
月刊情報誌

2017年2月号



I 生きがいを見つける Information C 心つながる Communication T ともに学ぼう Technology

2月の季語は、「向春の候」春に向かうという少しワクワク感があったり、「残寒の候」というまだ寒さが残っている表現で、はっきりしませんねえ（笑）

また、2上からは、花粉が舞う日が多くなります。苦手な方は、マスク着用等で防いでくださいね。

今月の話題

▼2017年はどんな年？ガートナーシンポジウム開催

新しいサービスや物が生まれるスピードは、以前に比べ各段に早くなっていると感じますね。

年に一度、アメリカではガートナーという機関がITの1年を展望するイベントを行います。ガートナーは、ITのリーダーが信頼する業界最大手IT調査機関です。そこでは興味深いデータが発表されました。

1億人が利用するようになるまでの期間

電話：75年
Web（インターネット）：7年
Facebook（フェイスブック）：4年
Instagram（インスタグラム）：2年
ポケモンGo：1ヶ月

電話とポケモンGoを比べると、なんと900倍の違いがありますね。

どうりで時代の流れが速いと感じるわけです。

便利で楽しいサービスは、どんどん私たちの元に届きます。自分にとって良いものがあれば、試していきたいですね。

さて、ガートナーシンポジウムでは、2017年のアメリカは、こんなキーワードが注目されるとのこと。

人工知能（AI）

AR/VR

IoT

フィンテック

ブロックチェーン

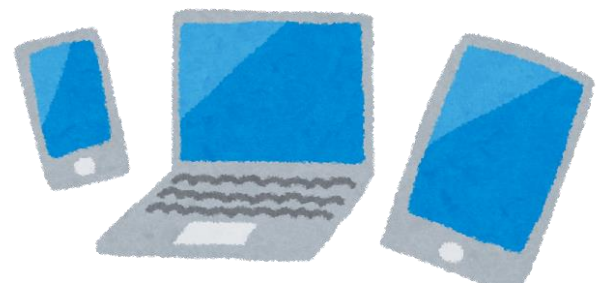
皆さまは、この中のいくつご存じだったでしょうか？（解説は「わかりやすい用語辞典」参照）

日本はアメリカに少し遅れてついていく傾向があり、今後の日本が想像できます。

また、これらのサービスは1社で実現する段階ではなくなってきており、今後のサービスは複数の企業がコラボして提供されてくることが予想されています。

今月の質問

▼タブレット・スマホ・PC あなたは何派？



お店では、たくさんのタブレットやスマートフォン・PCが並びます。

以前は、情報を収集する端末といえば、パソコンでしたが、今や同じようなことができる端末はいろいろあるのです。

どの端末を買うか迷ったら、3つのことを考えてみてください。

【1】OS



パソコンには Windows という基本ソフトが組み込まれています。Windows はパソコンが起動したり、保存したり印刷したりといった基本的な動作をする際に裏側で動いています。

スマートフォンやタブレットも、動くためには OS が必要です。それが iOS や Android と呼ばれるものです。

意識しないで使っているけれど、その機器の使い方は OS によって決まる部分が多いのです。言い換えれば、**OS が同じなら、使い方がとても似ている**ということですね。お友達やご家族と使い方の相談をしたい場合、同じ OS の端末選ぶというのも一つの選択肢となります。

【2】サイズ

画面の大きさは、「見やすさ」「触りやすさ」に大きくかかわってきます。

例えばインターネット検索をしたいなら、実際に検索してみましょう。さらにその画面は大きく拡大できるでしょうか？小さなボタンはタップできそうでしょうか？

また、Word などを使ってちょっとした資料を作りたい方は、文字の修正はできそうでしょうか？複数行の文章を入力したときに画面は見やすいでしょうか？

ご自身がやってみたいことを実際にやってみることをおすすめします。

【3】ネットにつながる場所

その端末を使うのはどこでしょうか？ご自宅の中？それとも移動しながらお出かけ先で使うことが多い？

地図を見てナビゲーションをしたいなら、どこでもネットにつながる必要があります。お出かけ先でどこでもネットに接続できるものは月額利用料金がかかります。

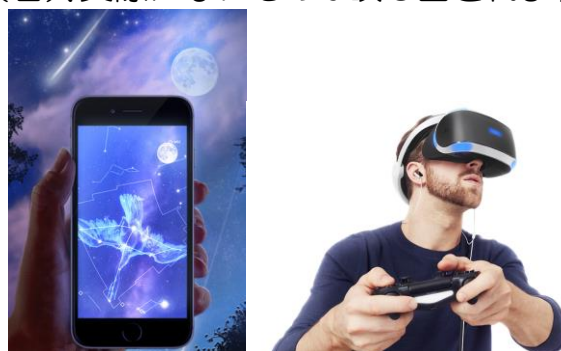
用語辞典

◆ガートナーシンポジウム用語◆

人口知能 (AI) とは、コンピュータに人と同じような知能を持たせる技術です。下図は「DeepZenGO」開発チームの加藤英樹さん（左）と趙名誉名人（右）



AR は拡張現実（左）、現実の画面に情報が重ね表示されます。**VR** は仮想現実（右）、実際にはないものが映し出されます。



IoT は、モノのインターネットとも訳され、あらゆるものがインターネットにつながる技術。

フィンテック は「ファイナンス」と「テクノロジー」を組み合わせた用語。スマートフォンなどのモバイル端末で行う決済がその一例です。

ブロックチェーン は Bit コインで使われている仕組みです。

